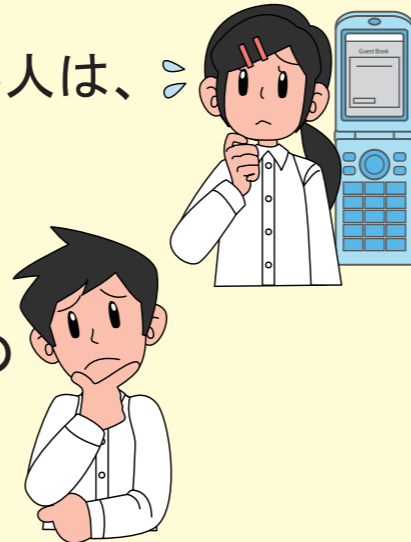


チェーンメールが送られてきたことはありますか？

けい帯電話を持っている人は
チェーンメールが送られてきたことはありますか？

また、けい帯電話を持っていない人は、
チェーンメールのことを
聞いたことがありますか？



送られてきたチェーンメールはどの
ように処理すればいいのでしょうか？

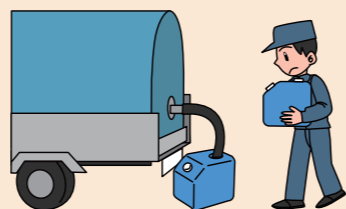
これって人助け？それとも…。

平成23年3月11日に発生した東日本大しん災。
その時、様々な種類のチェーンメールが送信されました。

実例

「なるべく多くの友人に転送してください。電力会社に勤務している友人からのメールです。原子力がとまっている関係で、今現在電気がついているところも明日の朝になったらつかなくなってしまう可能性があります。節電にご協力をお願いすると同時に、今ついている間に洗たく等できることをすませておいて、お湯などはわかしてポットに入れておくことをおすすめします。マンションの方は電気が止まると水も出なくなるので貯めておいて下さい。きん急事態なのでご理解とご協力をお願いします。」

しん災直後の混乱した時に送られた、
様々なチェーンメールについて
あなたはどう感じますか



気をつけて！それもチェーンメール！



ある日主人公のけい帯電話にチェーンメールが送られてくる。

「これは不幸のメールです。このメールを5人に転送しないとあなたは不幸になります。メールを止めた人には、これまでかかった料金をせい求するしくみになっています。」

主人公はこわくなって5人の友人に送信してしまう。

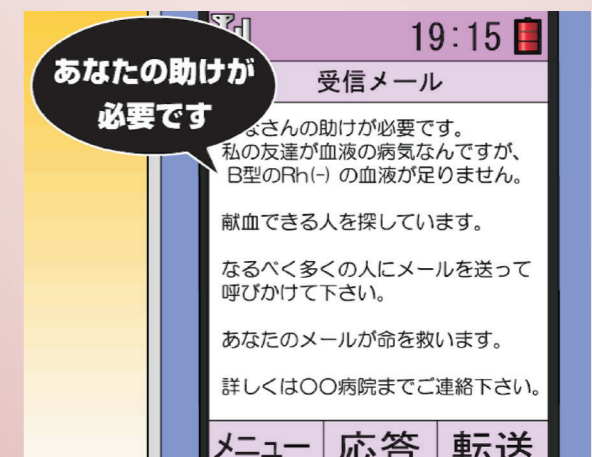
しかし、送信した5人の友人からは、
「ひどい！」「めいわく！」と非難されてしまう。



また、人助けを装うかのようなメールが送られてきた場合・・・。

「B型Rh(－)の血液がたりません。けん血できる人を探しています。
なるべく多くの人にメールを送って呼びかけてください。
あなたのメールが命を救います。
くわしくは〇〇病院まで、ご連絡ください。」

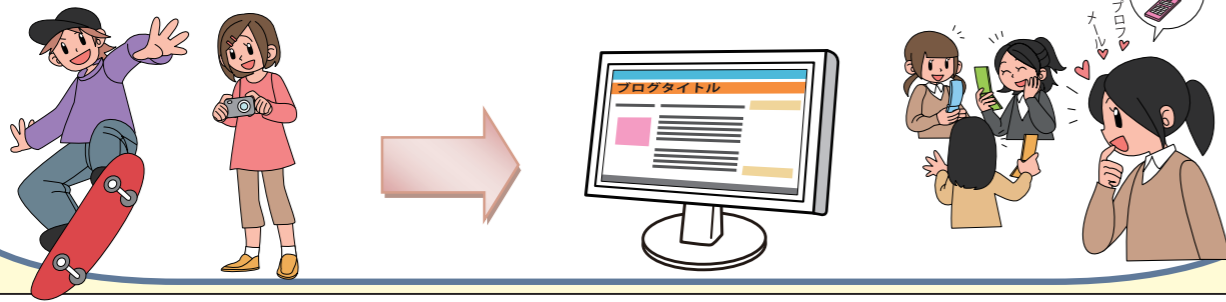
このようなメールが送られてきた場合は、
人助けのために送信した方が良いのだろうか。
主人公はなやんで、
夜もねむれなくなってしまう。



インターネットの違反行為と広がり

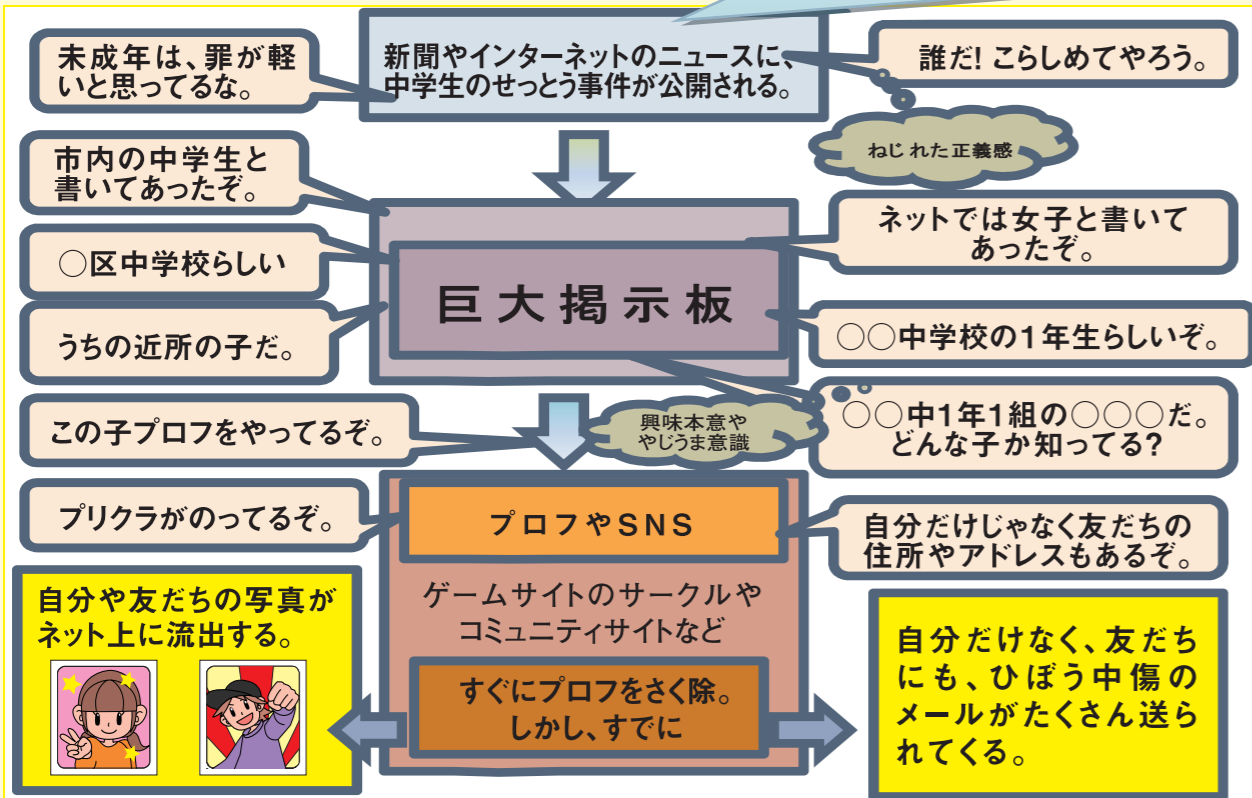
何がいけない？ 何が危ない？

友だちの写真や動画をプロフィールサイトや動画投稿サイトなどのインターネット上にアップロード



写真をとる時は、必ず本人の許可を得ましょう。写真をインターネット上にアップロードしたり、メールで送ったりする場合も、当然、本人の許可が必要です。勝手に使うことは、「**肖像権**」のしん害にあたります。また、犯罪やトラブルに巻き込んでしまうおそれもあります。参考「親子のためのネット社会の歩き方」(コンピュータ教育開発センター)

本当にあった事例です。未成年が起こした事件が けい示板で話題になりました。この事件では、不特定多数の人間が、興味本意で犯人探しを始め、たった1日で、本人の名前、住所、電話番号、学校名、家族や友だちの名前、メールアドレスまで、インターネット上にさらされてしまいました。



安全で、安心できる学校生活を送るために

チェーンメールが来てしまったら

まずは、大人に相談しよう。たとえ、人助けのような内容であっても、**転送しない**

正しい判断力を身につけましょう。



相模原市が用意したチェーンメールの転送先

end[]@sagamihara-kng.ed.jp

(上の[]の中に1~10までの数字を入れると10カ所のアドレスにメールを送ることができます。)

- risu1@ezweb.ne.jp
- risu2@ezweb.ne.jp
- risu3@ezweb.ne.jp
- dakef1@docomo.ne.jp
- dakef2@docomo.ne.jp
- dakef3@docomo.ne.jp
- dakef4@docomo.ne.jp
- dakef5@docomo.ne.jp
- kuris1@t.vodafone.ne.jp
- kuris2@t.vodafone.ne.jp

一般財団法人日本データ通信協会が公開しているチェーンメールの転送先

なりすましメール

誰かになりすまして、悪口などのいじめメールなどが送られてくるものです。これは、けい帯電話の「メール設定」から、防ぐことができます。また、知らない人には、アドレスを教えないようにしましょう。



けい示板とは、だれもが自由に書きこむことができ、たくさんの人と交流できるサイトです。しかしながら、ちょっとでも使い方を間ちがえると大変なことになります。

「そんなつもりじゃなかったのに…」

こうじさん、たけしさん、まさるさんは中学のバスケット部。この部には卒業したけいたさんが作った部活動のけい示板がある。このけい示板はバスケット部だけでなく、生徒のほとんどが部活動などの情報けい示板として使っている。

ある日、試合の敗因となったたけしさんのプレーの写真を反省材料としてけい示板にのせた。ところが、その写真がもとで、人をこうげきするような書き込みでけい示板が荒れてしまい、先ばいから閉さると言われた。また、たけしさんの写真や書き込みがいろいろなところで広まってしまい、たけしさんへの中傷メールが来るようになってしまった。出典「事例で学ぶNetモラル B-12」



ネットいじめをしない、あわないためにどんなことに気をつければいいのか、みんなで考えてみましょう。